



# JAびらとり

## びらとり特別栽培米協議会

### 取り組みの ご紹介

品 種：ななつぼし  
栽培方法：特別栽培米

沙流川（1級河川）  
さるがわ

2004年には国土交通省が  
行っている全国一級河川の水  
質調査で1位に選ばれている。

# ■ 基本情報



部 会 名 : びらとり特別栽培米協議会

構 成 員 : 5名

面 積 : ななつぼし 2,104.6 a

ゆめぴりか 885.9 a

成分回数 : 8~9回

化学肥料窒素施用量計 : 5kg

(慣行栽培における窒素施用量 : 10kg)

出荷可能数量

「ななつぼし」: フレ36本 (36.72トン)

紙324袋 (9.72トン)

計46.44トン



# ■産地PR-生産概況-

## 【農業】

- ☞ 肥沃な大地・清冽な水で生産される「びらとり米」
- ☞ 「ニシパの恋人」で知られる、トマト、トマトジュース  
(トマト生産量は北海道内1位)
- ☞ ほうれん草、みやこ南瓜など多種多様な施設路地野菜

## 【畜産業】

- ☞ 旨味の強いこだわりの「びらとり和牛」
- ☞ 脂肪まで美味しい「びらとり黒豚」



# ■ 産地PR -米づくり-



## • 恵まれた土壌・水・気候による良質米の生産

- ☞ 日高一の長流・沙流川が形成した肥沃な土壌・清冽な水
- ☞ 昼夜の温度差が大きく、お米作りに適した地域

## • 病害虫の発生が少ない

- ☞ 北海道内でも冷涼な地域のため、病害虫の発生が少ない
- ☞ 農薬の使用量を抑えられ、人・環境にやさしいクリーンな農業が可能

## • 有機肥料の使用

- ☞ 地域の酪畜農家と連携し、有機肥料を使用
- ☞ 農業用水の流出する川・海への環境保全にも配慮し、持続可能な農業の実践

水稻生産戸数: 88戸  
水稻作付面積: 526ha



☆「全道ゆめぴりかコンテスト（2016年）」で最高金賞を受賞

# ■ 産地PR -環境にやさしい持続可能な農業の実現-

## • 特別栽培

- ☞ 化学農薬: 当地比5割以上減・化学肥料: 同5割以上減(有機肥料使用)
- ☞ フェロモントラップ、すくい取りによるカメムシの耕種的防除
- ☞ ラジコンヘリ防除による周囲の環境への農薬飛散防止
- ☞ 農林水産省「環境保全型農業直接支払交付金」の取り組みに沿った生産(みどりのチェックシート)

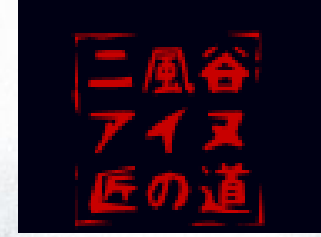
## • 温室効果ガス削減

- ☞ 稲わらの搬出
- ☞ 秋のすき込み作業
- ☞ 中干しによるワキ対策(有機分解によるメタン抑制)

## • 耕畜連携による循環型農業の取り組み



# ■ 産地PR -アイヌ文化が根差した農業-



## • アイヌと平取町

☞ 沙流川流域の平取町ニ風谷地区では、アイヌの伝統・文化が現在も継承され、その精神性や生活様式、工芸品などを現代に伝えている。

## • 「自然との共生」の精神

☞ アイヌ文化では「自然・自然現象それぞれに神(カムイ)が宿り、人間も自然の一部」とする考え方がある

☞ 「自然との共生」を重んじるアイヌ文化の考えが、現代の稲作にも通じている

☞ 自然にやさしい特別栽培(化学農薬節減・有機肥料の使用等)を通じて、現代にアイヌの精神性を継承している。



出典:ウポポイ公式HP



【工芸品】ニ風谷イタ



【工芸品】ニ風谷アットウシ

# ■最後に

## これからの取り組み

- ☞ 我々は引き続き、自然との共生、そして環境にも人間にもやさしい安全安心で持続可能な米づくりを続けていきます。



びらとり特別栽培米協議会  
会長 貝澤 太一

自然と共に生きる心で栽培された、こだわりの「びらとり米」  
ぜひご検討ください！